

③1 伊那八幡 (いなやわた)

飯田市

【開業】大正15年 【R元 一日平均乗車人員】186人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimooina/nature/7148.html>



駅の近くを通る国道151号沿いには、八幡商店街が広がっています。

駅名の由来ともなっている「鳩ヶ嶺八幡宮」が、駅から西へ徒歩5分程の場所にあります。

鳩ヶ嶺八幡宮は、1062年に京都の石清水八幡宮の分霊を祀ったのが始まりといわれています。

本殿には、鎌倉時代の作で、国の重要文化財「誉田別尊坐像」が祀られています。



③2 下山村 (しもやまむら)

飯田市

【開業】大正15年 【R元 一日平均乗車人員】40人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimooina/nature/7334.html>



住宅密集地の中にある無人駅です。

天竜峡方面(南)から来ると、この駅から飯田市の中心部に入ってきます。

飯田市の中心部では、飯田線の線路は大きなカーブを描きます。そのため、下山村駅から5つ先の伊那上郷駅は、飯田線だと6.4kmですが、直線距離では約2kmとなります。



③3 鼎 (かなえ)

飯田市

【開業】大正15年 【R元 一日平均乗車人員】649人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimooina/nature/7893.html>



昭和59年に飯田市と合併した旧鼎町の中心駅でしたが、現在は無人駅となっています。

近くの飯田OIDE長姫高校と下伊那農業高校の生徒が、通学に多く利用しています。

千代駅と並んで、縁起の良い駅名としても知られています。駅員がおり、窓口が開設されていた頃は、「願いが叶え(鼎)られます」というキャッチフレーズで、記念の入場券が販売され、人気を博していました。

